



神戸旧居留地と湾内クルージング

(テーマ: 海) 担当: Cグループ

神戸の旧外国人居留地をめぐり、開港以来の「港・神戸」の変化を見ていきたいと思います。
安政の日米修好通商条約(1858)により鎖国政策が終わり、日本は5港を開港することになりました。その一つが、古代には大輪田の泊と呼ばれた兵庫の津でしたが、新たな港の整備や外国人居留地の造成には兵庫の東の寒村であった神戸が最適とされ、整地が始められました。(生田川の付け替えもこの時)

居留地は、イギリス人土木技師ハートの設計で整然とした碁盤状の126の区画整備が行われ、貿易商たちの商館が建ち、下水道や公園も整った美しい街として、貿易港神戸の中心となりました。

東は旧生田川(今のフラワーロード)、西は鯉川筋、北は旧西国街道(元町商店街に続く通り)、南は海岸線に囲まれている範囲で、外国人による自治が認められていました。

明治27年(1894)の日英、次いで日米通商航海条約により治外法権が撤廃され居留地が返還されて以降は日本の商人が進出し、大正から昭和初期にかけて、船舶や金融関係中心に、ビジネスの拠点として近代洋風建築が次々と建てられていきました。

その後の神戸大空襲による破壊と戦後の復興、阪神淡路大震災による大きな被害と再建の歴史については、添付の資料をご覧くださいと思います。

今に残る旧居留地のレトロ建築群は、できるだけ元の部材を使って建て直したり、外観だけを復元して近代的なビルに建て替えたりしたのですが、様々な遺構が残り、街並み全体が今も美しく整えられています。そしてそれぞれの建物に物語があり歴史が刻まれています。併せて震災遺構も訪ねます。

・日 時 2022年 2月10日(木)

・集 合 10時 JR三ノ宮 西口改札前(大阪からだと進行方向の突き当たり)

阪急三宮駅東口とすぐ隣接しています。阪急三宮のホームから、東口のほうに上がり改札を出ると、すぐ右前方に、JRの西口があります。

・持ち物 弁当、水筒、雨具、敷物、双眼鏡 など。 寒さ対策をよろしくお願いいたします。

・行 程 約5～6km

10:00 JR三ノ宮 西口

10:10 旧居留地記念碑(設計図と銘板)……東遊園地内「1.17 希望の灯り」「慰霊と復興のモニュメント」……124番の碑……日本真珠会館……チャータードビル……沖港ビルディング……商船三井ビルディング……シップ神戸海岸ビル

11:15 メリケンパーク内「神戸港震災メモリアルパーク」

11:30 中突堤中央ターミナル着

11:45 神戸ベイクルーズ ロイヤルプリセス号出港(40分～45分の湾内クルーズ)

12:30 中突堤帰着。ターミナルの待合所 又は その周辺で昼食

13:00 中突堤から再度居留地に向け出発。

海岸ビルディング……神戸メリケンビル・アメリカ領事館の銘板……15番館(重要文化財)・下水道遺構

13:40 神戸市立博物館(神戸の歴史展示見学)

14:10 博物館……オリエンタルホテル……38番館……大丸神戸店・旧居留地の碑……旧三菱銀行柱頭……神戸朝日ビル……

15:00 JR三ノ宮駅 解散

時間を見計らって、途中行程を変更することもあります。

小雨なら実施します。中止の場合は、前日夕刻、メールで連絡いたします。